

平成29年度 第1回江別市スポーツ推進審議会 次第

平成29年8月30日(水)午後3時30分～
江別市教育庁舎大会議室

1 委嘱状交付

2 開 会

3 あいさつ

4 委員、職員紹介

5 会長・副会長の互選

6 報告事項

- (1) 平成28年度スポーツ関係事業実施報告について
- (2) 平成28年度スポーツ施設利用状況について
- (3) 平成28年度江別市スポーツ推進計画推進状況について
- (4) 平成29年度スポーツ関係事業計画について

7 説明事項

- (1) 第6期江別市スポーツ推進計画の策定について(別添)

[資料]

- ・第6期江別市スポーツ推進計画策定スケジュール(案)
- ・国・北海道・石狩管内他市の体系図比較
- ・スポーツ基本計画・概要版

8 その他

9 閉 会

[資料]

- ・スポーツ基本法(抜粋)、江別市スポーツ推進審議会条例
- ・第5期江別市スポーツ推進計画(別冊) ・市内スポーツ活動の状況(別冊)
- ・江別市内スポーツ関連施設マップ

江別市スポーツ推進審議会委員名簿

自 平成29年6月 1日
任 期 至 平成31年5月31日

氏 名	所 属 等	選 出 区 分
ふる 川 孝 行	江別市体育協会理事長	学識経験を有する者 (江別市体育協会)
こ 小 林 照 美	江別市スポーツ推進委員協議会副会長	学識経験を有する者 (江別市スポーツ推進委員協議会)
お 小 野 善 弘	江別市立野幌小学校校長	学識経験を有する者 (江別市小中学校長会)
か 加 藤 隆 明	江別市立第二中学校校長	学識経験を有する者 (江別市中学校体育連盟)
はら 原 大 輔	北海道江別高等学校教諭	学識経験を有する者 (高校体育)
はな 井 篤 子	北翔大学生涯スポーツ学部教授	学識経験を有する者 (大学体育)
かね 金 内 晴 夫	江別市スポーツ少年団本部長	学識経験を有する者 (江別市スポーツ少年団)
やま 山 下 和 人	江別大谷幼稚園園長	学識経験を有する者 (江別市私立幼稚園連合会)
まつ 松 田 和 子	江別ママさんバレーボール連盟会長 兼理事長	学識経験を有する者 (江別ママさんバレーボール連盟)
さ 佐 藤 敦 子	北海道石狩振興局保健環境部保健 行政室企画総務課主査(健康増進)	関係行政機関の職員
は 袴 田 丈 晴	一般財団法人北海道体育文化協会 北海道立野幌総合運動公園 野幌公園事務所長	関係行政機関の職員

(敬称略)

報告事項（１） 平成28年度スポーツ関係事業実施報告について

◇スポーツ課スポーツ係所管事業

事業名	事業内容等	決算額(千円)
学校体育施設開放事業		4,734
社会人体育団体学校開放事業 開放学校数25小中学校 利用者数(人) 152,096	市民のスポーツクラブに学校体育館及びグラウンドを開放	235
体育施設開放事業(学校体育館土曜開放) 開放学校数10小学校 利用者数(人) 3,957	学校が休業となる土曜日午前中、地域の児童生徒がスポーツを楽しむ場として学校体育館及びグラウンドを開放	1,092
体育施設開放事業(学校プール開放) 開放学校数15小学校 利用者数(人) 9,924	夏休み期間中、小学校15校のプールを地域の児童生徒とその保護者に開放	3,407
スポーツ普及奨励事業		4,234
青少年スポーツ賞顕彰 スポーツ賞 1個人 1団体 スポーツ奨励賞 31個人 13団体 教育委員会表彰 16個人 12団体	全道及び全国規模の大会で、優秀な成績を収めた青少年に対し、スポーツ賞等を贈呈。平成28年度は、2月25日(土)に江別市民文化ホールにおいて贈呈式を実施	1,372
スポーツ大会出場奨励金交付 国際大会 8個人 団体:なし 計8人 全国大会 66個人 18団体127人 計193人 全道大会 60個人 5団体79人 計139人	国際大会、全国大会及び全道大会に出場する選手等に対し奨励金を支給	2,862
スポーツ振興に関する事業		50,485
屋外体育施設管理運営事業	はやぶさ運動広場の屋外体育施設維持管理業務及び屋外特設スケートリンク管理運営業務を(一財)江別市スポーツ振興財団へ委託	5,734
スポーツ大会等振興補助事業	(一財)江別市スポーツ振興財団が実施するスポーツ大会及びスポーツ振興に係る事業費への補助金	44,751
体育団体補助金		
江別市体育協会補助金 団体数24団体 会員数7,148人	体育協会の実施事業に対する補助金(加盟団体は25団体だがスポーツ少年団を除く)	1,990
スポーツ少年団補助金 団数41団体 団員数1,051人 指導者数229人	スポーツ少年団の実施事業に対する補助金	1,940
地域スポーツ活動活性化促進事業	地域スポーツの指導体制づくりを目的に、スポーツ推進委員が地域の集まりに出向いて軽スポーツを指導 出前軽スポーツ指導:4件 受講者総数:76名 延べ派遣スポーツ推進委員数:10名	152

事業名	事業内容等	決算額(千円)
全国大会等開催補助事業	市内で開催の全日本マスターズホッケー大会、天皇賜杯全日本軟式野球大会、全国社会人9人制バレーボール大会へ、開催地として補助金を交付	1,300
3市交流スポーツ大会開催事業	江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象とした交流事業で、平成28年度は江別市内での開催なし	0
スポーツ合宿誘致推進事業	スポーツ合宿誘致に係る情報収集やPR活動に加え、道外からの合宿団体に対する送迎サービス、会場使用料の補助、江別市特産品の提供などの支援を実施	1,335
スポーツ施設改修整備事業		149,458
体育施設整備更新事業	体育施設の維持補修工事費、点検整備費、備品購入費(市民体育館のバスケットゴール1対の更新を含む)	31,616
体育施設整備更新事業(体育施設耐震化)	大麻体育館第1体育室耐震改修工事及びトレーニング室棟耐震改修実施設計委託	88,851
市民体育館改修整備事業	市民体育館卓球場天井改修及び屋上防水工事	5,220
大麻体育館改修整備事業	大麻体育館第1体育室天井断熱材改修及び屋上防水工事	23,771
体育施設の指定管理事業		194,922
屋内体育施設管理運営事業	市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館の計4体育館の指定管理及び、指定管理事業としての同施設におけるスポーツ教室開催事業に係る指定管理料(指定管理者:(一財)江別市スポーツ振興財団)	178,580
あけぼのパークゴルフ場管理運営事業	あけぼのパークゴルフ場の指定管理に係る指定管理料(指定管理者:エコ・グリーン事業協同組合)	10,397
森林キャンプ場管理運営事業	森林キャンプ場の指定管理に係る指定管理料(指定管理者:エコ・グリーン事業協同組合)	5,945

◇一般財団法人江別市スポーツ振興財団事業（平成28年度スポーツ振興関連事業実施状況）

1 指定管理事業

(1) 指定管理者として次の市体育施設の管理運営を行った。

- ア 江別市民体育館
- イ 江別市大麻体育館（付帯施設を含む。）
- ウ 江別市青年センター
- エ 江別市東野幌体育館
- オ 江別市都市公園（屋外体育施設）
飛鳥山公園、石狩川河川敷緑地、テニスコート、野球場、ソフトボール場、チビッ子スキー場、歩くスキーコース

(2) 指定管理事業としてスポーツ教室開催事業を実施した。

教室名		対象	1教室回数	年間教室数	受講人数	備考
高齢者ふれあい健康教室	しらかば	65歳以上	25	1	75	5/10~3/7
	あかしや		25	1	57	5/11~3/8
	はまなす		25	1	74	5/13~3/10
	ななかまど		25	1	61	5/10~3/14
	かえで		25	1	56	5/11~3/8
	いちょう		25	1	72	5/13~3/10
	つつじ		25	1	59	5/19~3/9
エンジョイスポーツ教室	スズラン	16歳以上の女性	20	1	25	5/9~12/19
	カトレア		20	1	31	5/9~12/19
ジュニアスポーツ教室	おおぞら	小学1・2年生	20	1	21	5/10~12/6
	はやぶさ	小学3・4年生	20	1	25	5/11~12/7
ジュニアジャズ・ヒップホップ教室		小学生	15	2	60	5/16~9/5、10/17~2/13
親子健康教室つばさ		2歳~就園前の幼児と保護者	15	2	64	5/12~9/15、10/13~3/2

教室名		対象	1教室回数	年間教室数	受講人数	備考
小学生水泳教室	1期(月曜)	小学1・2年生	10	1	30	5/9~7/11
	1期(木曜)		10	1	30	5/12~7/21
	1期(土曜)		10	1	30	5/7~7/9
	2期(月曜)		10	1	30	9/5~11/21
	2期(木曜)		10	1	30	9/8~12/1
	2期(土曜)		10	1	30	9/10~11/19
	3期(月曜)	小学3~6年生	10	1	23	1/9~3/20
	3期(木曜)		10	1	30	1/12~3/23
ステップエクササイズ教室		16歳以上	15	2	85	4/18~8/1、8/22~12/12
			10	1	37	1/16~3/20
ナイトボクシングエアロ教室		16歳以上	15	2	90	4/21~8/11、8/25~12/8
			10	1	44	1/5~3/9
ラテンエアロ教室		16歳以上	15	2	70	4/18~8/1、8/22~12/12
			10	1	35	1/16~3/20
おやじエクササイズ教室		16歳以上の男性	15	2	52	4/19~8/9、8/30~12/13
			10	1	23	1/10~3/14
フラダンス教室		16歳以上	15	2	70	4/22~8/5、8/26~12/2
			10	1	34	1/6~3/17
ヨガ教室		16歳以上	15	4	129	4/21~8/4、4/20~8/3、8/25~12/15、8/24~12/7
			10	2	65	1/5~3/9、1/11~3/15
ナイトヨガ教室		16歳以上	15	2	60	4/21~8/11、8/25~12/15
			10	1	30	1/12~3/23
ピラティス教室		16歳以上	15	4	150	4/19~8/2、4/19~8/2、8/23~11/29、8/23~12/6
			10	2	66	1/10~3/14、1/10~3/14
ナイトピラティス教室		16歳以上	15	2	60	4/18~8/8、8/29~12/5
			10	1	30	1/9~3/13
アクアビクス教室		16歳以上	15	2	57	11/2~12/26、1/11~3/1
水中ウォーキング教室		16歳以上	15	1	42	11/24~3/16
			10	2	90	5/13~7/15、8/26~11/4

教室名	対象	1教室回数	年間教室数	受講人数	備考
エクササイズナイト	16歳以上	15	2	80	4/20~8/10、8/24~12/7
		10	1	24	1/11~3/15
背骨コンディショニング教室	16歳以上	15	2	60	4/22~8/12、8/26~12/9
		10	1	30	1/6~3/17
体調改善教室	16歳以上	15	2	70	4/20~8/3、8/24~12/7
		10	1	35	1/11~3/15
バランスコーディネーション教室	16歳以上	15	1	27	8/22~12/19
		10	1	32	4/18~7/4
		8	1	21	1/9~3/20
ソフトエアロ教室	16歳以上	15	2	60	4/19~8/2、8/30~12/6
		10	1	0	開催中止
パワフルエアロ教室	16歳以上	15	2	44	4/18~8/1、8/22~12/19
		10	1	13	1/9~3/20
ズンバ教室	16歳以上	15	2	43	4/18~8/1、8/22~12/19
		10	1	21	1/9~3/20
登山教室	小学生以上	1	1	43	7/2樽前山（苫小牧市）
教室無料体験レッスン	16歳以上	ダンス・フィットネス系 全18教室×2回		延べ 492	7/6~7/8、11/23~11/25

2 受託事業（市委託）

受託により次の市体育施設の管理運営を行った。

ア はやぶさ運動広場

イ 特設スケートリンク（江別第二中学校グラウンド）

3 補助事業

市から補助金を受け、次のスポーツ振興のための事業を行った。

(1) スポーツ大会開催事業

大会名	対象	参加人員 (人)	備考
原始林クロスカントリー大会	小学生以上	970	9/4 野幌総合運動公園
ななかまど杯 北海道小学生バレーボール大会	小学生	399	10/15~16 30チーム 道内4ブロック推薦
市民グリーンボール普及交流会	小学生以上	53	7/10 飛鳥山公園グリーンボール場
マスターズスポーツ大会	45歳以上	90	卓球 1/22、バドミントン 2/11
原始林クロスカントリースキー大会	年齢問わず	332	1/29 野幌総合運動公園
春の水泳記録会	小学生以上	145	2/12 江別水泳協会主管
市民体育大会	種目で異なる	4, 132	各協会・連盟主管

(2) 健康体力づくり指導相談事業

ア 指導相談事業

事業名	対象	回数	内容
健康指導相談 健康体力づくり	健康・トレーニング指導相談	要予約	健康・体力づくりに関する相談、 体力測定、運動処方作成、運動 指導等 101人
	体力測定	要予約	体力測定、体格測定 63人
	マンツーマン トレーニング	要予約	マンツーマントレーニング指導 16人
ワンポイントトレーニング	市民体育館、大麻体育館 トレーニング室利用者	447回	トレーニングマシンの使用方法・ フリーウェイトトレーニングの ワンポイント指導 延べ1,333人
ワンポイントレッスン水泳	青年センタープール 利用者	48回	水慣れから4泳法まで、個人の レベルに合わせた泳法に関する 技術的な指導 延べ325人

イ 情報提供事業

体育施設におけるスポーツ情報誌の無料閲覧や、財団の年間事業計画（募集等）の広報折込みチラシを作成し市民に配付した。また、スポーツカレンダーの作成、「スポーツ

財団「江別」(年2回)及び「江別スポーツ新聞」(4体育館での掲示新聞 毎月)の発行と、財団ホームページの情報内容の充実を図った。

(3) スポーツ指導者養成事業

事業名	回数	内容
地域スポーツ実技講習会	2	グリーンボール実技講習会 5/28、6/14 飛鳥山公園グリーンボール場 合計27人
	1	ノルディックウォーキング講習会 7/3 飛鳥山公園 20人
	1	クロスカンリースキー・歩くスキー講習会 2/4 飛鳥山公園 25人
スポーツ指導者理論・実技講習会	1	テーマ：けがと無縁のカラダづくり【基礎・応用】 6/4 東野幌体育館 25人 江別市体育協会共催事業

4 自主事業

財団として体育施設の利用促進、スポーツの普及振興と市民の健康・体力の増進を図るため、次の自主事業を実施した。

事業名	参加人員(人)	内容
集まれ、ちびっ子！ 元気祭り！！2016	延べ 6,750	6/26 レクリエーションスポーツ体験や子ども縁日など、小学生以下とその家族を中心に気軽に参加できる「スポーツ祭り」を開催した。
トレーニング室早朝開放月間	延べ694	7/11～8/10 市民体育館トレーニング室を午前8時から開放し、混雑防止とサービス向上を図った。
親子で遊ぼう！！わくわく広場	延べ212	4/13～3/21 4体育館にて開催 子育て支援の一環として、子どもの遊具広場を無料で開放し、子育て世代間の親睦を図った。

報告事項（２） 平成２８年度スポーツ施設利用状況について

１ 屋内施設

(単位:人)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市民体育館	183,877	180,439	147,721	186,162	200,570
大麻体育館	132,079	137,100	144,564	143,927	129,756
青年センター	104,334	103,503	99,816	107,515	114,283
体育館・研修室	63,378	64,959	63,868	66,410	73,505
プール	40,956	38,544	35,948	41,105	40,778
東野幌体育館	57,332	52,589	57,661	54,927	58,942
合 計	477,622	473,631	449,762	492,531	503,551

２ 屋外施設

(単位:人)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
飛鳥山公園	22,989	24,637	24,459	24,072	26,113
野球場	12,284	11,984	10,862	10,860	11,346
多目的市民広場	3,796	5,980	7,203	6,034	8,025
テニスコート	6,909	6,673	6,394	7,178	6,742
石狩川河川敷	3,709	4,910	4,027	4,125	3,354
ソフトボール場	3,236	3,614	3,357	3,595	3,154
サッカー場	473	1,296	670	530	200
はやぶさ運動広場	24,340	17,473	13,906	23,261	28,220
野球場	11,062	7,841	5,730	10,240	12,600
テニスコート	1,854	1,271	1,618	2,081	2,320
多目的広場	11,230	8,361	6,558	10,940	13,300
ゲートボール	194	0	0	0	0
野幌末広町公園野球場	7,736	8,689	8,749	8,284	7,700
大麻東公園	5,847	5,925	5,594	4,968	5,337
野球場	4,663	4,895	4,215	3,116	3,305
テニスコート	1,184	1,030	1,379	1,852	2,032
大麻西公園	6,293	5,390	5,742	9,079	7,471
野球場	2,888	2,846	2,538	4,974	4,343
テニスコート	3,405	2,544	3,204	4,105	3,128
大麻中央公園野球場	22,624	24,418	24,525	25,287	25,239
大麻新町公園テニス	11	735	865	987	840
合 計	93,549	92,177	87,867	100,063	104,274

３ 森林キャンプ場

(単位:人)

(単位:人)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者総数	8,089	8,212	9,071	11,006	11,576
団体(日帰り)	1,218	1,228	1,143	2,774	2,358
団体(宿泊)	1,468	1,659	1,349	1,160	838
個人(日帰り)	2,727	2,513	3,116	3,482	3,959
個人(宿泊)	2,229	2,322	2,983	3,258	3,849
日帰り炊飯	447	490	480	332	572

4 あけぼのパークゴルフ場

(単位:人)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開放日数(日)	184	184	184	184	184
1日当り(人)	167	183	169	163	159
1日券(件)	1,463	3,365	3,068	2,867	3,215
27ホール券(件)	1,189	748	1,108	880	874
1ラウンド券(件)	1,045	1,190	1,135	1,141	1,275
延長9ホール券(件)	239	116	99	84	106
回数券(件)	161	9	0	0	0
特別使用(人)	1,098	1,483	951	1,503	1,647
合 計(人)	30,813	33,710	31,060	30,081	29,185
小学生(以下:人)	223	194	250	200	150
中学生	73	63	68	34	26
高校生	0	0	0	0	0
大学生	0	0	0	0	0
一般	8,806	787	884	650	590
65歳以上	-	12,019	11,857	10,702	12,008
無料	1,098	1,483	951	1,503	1,647
団体	20,613	19,164	17,050	16,992	14,764

5 スケートリンク (第二中グラウンド・冬期間特設リンク)

(単位:人)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
第二中学校	13,733	12,953	14,159	17,591	11,860

(単位:人)

屋内・屋外施設計	623,806	620,683	591,919	651,272	660,446
----------	---------	---------	---------	---------	---------

6 学校体育施設開放事業

(単位:人)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
クラブ開放	163,185	151,124	146,622	145,746	152,096
地域開放	3,275	2,778	2,564	3,750	3,957
プール開放	11,438	10,231	9,979	11,102	9,924

(単位:人)

総合計	801,704	784,816	751,084	811,870	826,423
-----	---------	---------	---------	---------	---------

平成28年度 江別市スポーツ推進計画（第5期）推進状況報告書

計画期間 平成26年度～平成30年度

基本方針： いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツに親しみ、心身が健康で明るく豊かになるスポーツ活動を推進し、スポーツを通じたあたたかなまちづくりを目指すため、スポーツを生活の中に組み込むことによって、自らの体力向上や健康の保持増進を図り、市民スポーツ活動の活性化を図る。

市民が生涯にわたってスポーツを気軽に行える場を提供し、心身ともに健やかで充実した生活を営めるよう、3つの基本目標に基づき計画を推進しています。


基本目標Ⅰ：生涯スポーツの推進

【基本目標Ⅰで目指すこと】

生涯各期（幼児・青少年・成人・高齢者の各期）におけるスポーツ活動及び障がい者のスポーツ活動を推進するため、発達段階やライフスタイルに応じた活動内容や指導体制の充実を図るとともに、多様な活動機会の提供や環境整備、スポーツを習慣づけるための情報提供を充実させます。

また、生涯スポーツ、学校における体育・スポーツ、競技スポーツといった領域に着目した多様なニーズに応えるため、関係機関・団体の連携や指導者のネットワーク構築等により、施設の有効活用、各種大会の振興を図り、運動能力や技術レベルの向上等を促進します。

◆**成果指標1 週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合**

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
23.6%	37.3%	37.8%	40.0%			

■**前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性**

・平成28年度は、生涯各期におけるスポーツ活動の機会提供と充実として、各種スポーツ教室を開催し、各年齢層別のメニューを提供しました。スポーツ教室はメニューの見直しなどを行い、より参加しやすい教室になるよう工夫しています。

各領域におけるスポーツ活動の充実と関係機関・団体との連携としては、学校開放事業や各種スポーツ大会開催の支援など、スポーツ活動機会の提供を行いました。

・スポーツ教室の受講者数は、前年を若干下回ったが、安定した受講者数を確保しています。

学校開放事業は、各団体の登録人数は減少しているものの、利用人数は増加しており、各団体の活動は活発な状態です。週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合は40.0%と上昇し、年代別にみると高年齢層の方の割合が高くなっています。

・スポーツ活動に親しむ市民割合は上昇しておりますが、これを確実なものとするため、今後も、より多くの市民がスポーツ活動に親しむことができるよう、市民ニーズを的確に把握し、関係機関と連携して魅力ある事業の提供に努めていきます。

また、スポーツ合宿誘致活動を積極的に実施し、市内施設を利用して合宿を行う道外の団体に対し施設使用料補助等の支援を行うとともに、交流試合等の市民交流事業を通じ、市内のスポーツ振興に取り組みます。

基本目標Ⅱ：地域スポーツ活動の推進


【基本目標Ⅱで目指すこと】

市内の体育団体を統括する組織を支援し、各団体の活動の活性化を図ります。また、地域スポーツにおいても、安全に配慮した活動ができるように専門的な指導者の育成・資質向上を図るとともに、個人の運動能力に適した活動が選択できるよう情報提供と相談活動の充実を図ります。

住民が主体的に参画する総合型地域スポーツクラブに対して広報活動等の支援を行い、地域スポーツ環境の充実を図ります。

さらに、医療・福祉機関等と連携し、情報提供や相談体制の充実を図るなど、健康づくりの面からスポーツを推進します。

◆成果指標2 スポーツ機会が充足していると思う市民割合

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
76.5%	61.3%	57.6%	61.6%			

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・平成28年度は、地域スポーツ活動の活性化のため体育協会やスポーツ少年団の活動に対する支援のほか、スポーツ推進委員を派遣して軽スポーツの指導・普及を行う軽スポーツ出前事業を実施し、気軽にスポーツに親しめる機会を提供しました。

・各スポーツ団体やスポーツ少年団は少子高齢化の影響がある中、会員数は一定の人数を保っており、それぞれの団体は活発に活動し、全道大会や全国大会でも多くのチームや選手が活躍し好成績を収めています。

スポーツ機会が充足していると思う市民割合は61.6%と上昇し、年代別で見ると若年層と高年層の方が充足していると感じている割合が高くなっています。

・活動団体の活性化促進のため、体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等に対し、指導者育成等の支援を継続して行っています。また、スポーツ・健康づくりの活動機会に関する情報提供や相談体制の充実に努め、スポーツを通じた健康寿命の延伸を図っていきます。


基本目標Ⅲ：スポーツ環境の整備・充実

【基本目標Ⅲで目指すこと】

市民要望を踏まえ、安全で快適なスポーツ施設の維持整備を計画的に進めます。また、指定管理者制度を導入している施設については、施設管理団体と連携し、各種大会や教室の開催など、市民が利用しやすい適切な施設の管理運営を図ります。

さらに、学校施設や民間等の施設との連携により、施設の有効活用を図ります。

◆成果指標3 スポーツ施設整備の満足度

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
70.1%	59.1%	56.6%	60.0%			

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

・平成28年度は、災害時の避難所としても重要な社会体育施設の計画的な改修（耐震化・長寿命化）として、大麻体育館の第一体育室耐震改修工事及びトレーニング室棟の耐震改修実施設計を行ったほか、施設の修繕及び備品の更新等の環境整備に努めました。

・市内の屋内体育施設は、建築から30年以上経過したものが多く老朽化対策が課題となっているため順次改修整備を進めており、その結果、スポーツ施設整備の満足度は上昇し60.0%となりました。

・平成29年度も引き続き大麻体育館の耐震化、長寿命化を行い、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めるとともに、指定管理者と連携して利用しやすい施設運営と適切な管理を行います。

報告事項（４） 平成29年度スポーツ関係事業について

◇スポーツ課スポーツ係所管事業

事業名	事業内容等	予算額(千円)
学校体育施設開放事業		5,415
社会人体育団体学校開放事業	前年度同様の事業内容	427
体育施設開放事業(学校体育館土曜開放)	前年度同様の事業内容	1,351
体育施設開放事業(学校プール開放)	前年度同様の事業内容	3,637
スポーツ普及奨励事業		3,200
青少年スポーツ賞顕彰	前年度同様の事業内容	1,200
スポーツ大会出場奨励金交付	前年度同様の事業内容	2,000
スポーツ振興に関する事業		50,915
屋外体育施設管理運営事業	前年度同様の事業内容	6,132
スポーツ大会等振興補助事業	前年度同様の事業内容	44,783
体育団体補助金		3,712
江別市体育協会補助金	前年度同様の事業内容	1,705
スポーツ少年団補助金	前年度同様の事業内容	2,007
地域スポーツ活動活性化促進事業	前年度同様の事業内容	324
全国大会等開催補助事業	平成29年度は対象となる全国大会の開催予定無し	0
3市交流スポーツ大会開催事業	札幌市厚別区、北広島市、江別市の市民を対象として交流事業を行う。平成29年度は江別市でパークゴルフ大会を開催する。	101
スポーツ合宿誘致推進事業	前年度同様の事業内容	5,766
パラ・スポ体験会開催支援事業	障がい者スポーツを実体験できるイベントの実行委員会へ補助金を交付し、市民の障がい者スポーツへの理解を深め、すべての人がスポーツに親しむための意識醸成を図る。	150
スポーツ施設改修整備事業		146,064
体育施設整備更新事業	体育施設の維持補修工事費、点検整備費、備品購入費	7,466
体育施設整備更新事業(体育施設耐震化)	大麻体育館トレーニング室棟耐震改修工事	105,000
市民体育館改修整備事業	市民体育館高圧受変電設備更新及び地下タンク内部コーティング工事	23,198
大麻体育館改修整備事業	大麻体育館軽スポーツ室屋上防水改修及び軽スポーツ室床張替え工事	10,400
体育施設管理運営事業		193,340
屋内体育施設管理運営事業	前年度同様の事業内容	176,996
あけぼのパークゴルフ場管理運営事業	前年度同様の事業内容	10,398
森林キャンプ場管理運営事業	前年度同様の事業内容	5,946

◇一般財団法人江別市スポーツ振興財団事業（平成29年度スポーツ振興関連事業計画）

1 指定管理事業

(1) 指定管理者として次の市体育施設の管理運営を行う。

- ア 江別市民体育館
- イ 江別市大麻体育館（付帯施設を含む。）
- ウ 江別市青年センター
- エ 江別市東野幌体育館
- オ 江別市都市公園（屋外体育施設）
飛鳥山公園、石狩川河川敷緑地、テニスコート、野球場、ソフトボール場、チビッ子スキー場、歩くスキーコース

(2) 指定管理事業としてスポーツ教室開催事業を実施する。

事業名		対象	1教室回数	年間教室数	1教室人員	開催場所
高齢者ふれあい健康教室	しらかば	65歳以上	25	1	60	市民体育館
	あかしや	65歳以上	25	1	60	市民体育館
	はまなす	65歳以上	25	1	60	市民体育館
	かえで	65歳以上	25	1	60	大麻体育館
	いちよう	65歳以上	25	1	60	大麻体育館
	ななかまど	65歳以上	25	1	60	青年センター
	つつじ	65歳以上	25	1	60	東野幌体育館
エンジョイ スポーツ教室	スズラン	16歳以上の女性	20	1	40	市民体育館
	カトレア	16歳以上の女性	20	1	40	市民体育館
ジュニア スポーツ教室	おおぞら	小学1・2年生	20	1	30	市民体育館
	はやぶさ	小学3・4年生	20	1	30	市民体育館
親子健康教室つばさ		2～5歳児と保護者	15	2	30組	市民体育館
バランスコーディネーション教室		16歳以上	9～15	3	40	市民体育館
ピラティス教室		16歳以上	10～15	3	40	市民体育館
		16歳以上	10～15	3	30	東野幌体育館
登山教室		小学生以上	2	1	40	道央圏
ステップエクササイズ教室		16歳以上	10～15	3	45	大麻体育館
ラテンエアロ教室		16歳以上	10～15	3	35～45	大麻体育館

事業名		対象	1教室回数	年間教室数	1教室人員	開催場所
体調改善教室		16歳以上	10~15	3	35	大麻体育館
ヨガ教室		16歳以上	10~15	3	35	大麻体育館
		16歳以上	10~15	3	30	東野幌体育館
ナイトボクシングエアロ教室		16歳以上	10~15	3	45	大麻体育館
小学生水泳教室	月曜コース	小学1・2年生	10	2	30	青年センター
		小学3~6年生	10	1	30	青年センター
	水曜コース	小学3~6年生	10	2	20	青年センター
	木曜コース	小学1・2年生	10	3	30	青年センター
ズンバ教室		16歳以上	10~15	3	30	青年センター
パワフルエアロ教室		16歳以上	10~15	3	30	青年センター
ナイトヨガ教室		16歳以上	10~15	3	30	青年センター
水中ウォーキング教室		16歳以上	10~15	3	40	青年センター
アクアピクス教室		16歳以上	15	2	30	青年センター
ジュニアジャズ・ヒップホップ教室		小学生	15	2	30	東野幌体育館
ナイトピラティス教室		16歳以上	10~15	2	30	東野幌体育館
おやじエクササイズ教室		16歳以上の男性	10~15	3	30	東野幌体育館
エクササイズナイト		16歳以上	10~15	3	40	東野幌体育館
ソフトエアロ教室		16歳以上	10~15	3	30	東野幌体育館
フラダンス教室		16歳以上	10~15	3	30	東野幌体育館
背骨コンディショニング教室		16歳以上	10~15	3	30	東野幌体育館
教室無料体験レッスン		16歳以上	4日×2回(予定)		300	各体育館

2 受託事業(市委託)

受託により次の市体育施設の管理運営を行う。

ア はやぶさ運動広場

イ 特設スケートリンク(江別第二中学校グラウンド)

3 補助事業

市から補助金を受け、次のスポーツ振興のための事業を行う。

(1) スポーツ大会開催事業

大会名	対象	予定人員	備考
原始林クロスカントリー大会	小学生以上	1, 200	会場：道立野幌総合運動公園
ななかまど杯北海道小学生バレーボール大会	小学生	450	道内4ブロック推薦、30チーム
市民グリーンボール普及交流会	小学生以上	70	北海道スポーツ100選
マスターズスポーツ大会	45歳以上	100	卓球、バドミントン
原始林クロスカントリースキー大会	年齢問わず	360	会場：道立野幌総合運動公園
春の水泳記録会	小学生以上	100	青年センタープール開設記念事業
市民体育大会	種目により異なる	5, 000	体協加盟24団体

(2) 健康体力づくり指導相談事業

ア 指導相談事業

事業名	対象	回数	内容
健康・トレーニング指導相談	減量、体力づくり、競技力向上等を希望する方	要予約	健康・体力づくりに関する相談 体力測定・運動処方・運動指導等
体力測定	現在の体力レベルの測定を希望する方	要予約	体力測定（最大酸素摂取量、筋力等） 体格測定（腹囲、腕囲等）
マンツーマントレーニング	個別運動指導を希望する方	要予約	マンツーマントレーニング指導
ワンポイントトレーニング	市民体育館利用者 大麻体育館利用者	常時	トレーニングマシンの使用方法のワンポイント指導
ワンポイント水泳	青年センタープール利用者	月4回	水慣れから4泳法まで、個人のレベルに合わせた泳法に関する技術的な指導

イ 情報提供事業

スポーツ情報誌（月刊誌等）の無料閲覧サービス
健康に関する話題や問題点等の情報提供
「スポーツ財団 江別」の発行（年2回）
「江別スポーツ新聞」の発行（毎月）
財団ホームページの拡充

(3) スポーツ指導者養成事業

事業名	人員	回数	内容
地域スポーツ実技講習会	30	2	グリーンボール実技講習会 (会場：飛鳥山公園グリーンボール場)
	50	1	ノルディックウォーキング講習会 (会場：飛鳥山公園)
	50	1	クロスカントリースキー・歩くスキー講習会 (会場：飛鳥山公園)
健康・スポーツ講習会	50	1	スポーツ選手・指導者・保護者・愛好者を対象に 理論と実技講習会

4 自主事業

財団として体育施設の利用促進、スポーツの普及振興と市民の健康・体力の増進を図るため、次の自主事業を実施する。

事業名	人員	時期	内容
集まれ、ちびっこ！元気祭り！！	500	6月	市民体育館において、軽スポーツ用具を開放し、様々なスポーツを体験する。また、市民相互の親睦や交流を図る。
トレーニング室早朝開放月間	600	8月	通常午前9時の開館を市民体育館トレーニング室のみ午前8時より開放し、混雑の解消とサービスの向上を図る。
親子で遊ぼう「わくわく広場」	400	月1回	子育て支援の一環として、幼児のいる家庭を対象に、安心して親子で遊べる広場を各体育館で提供する。
市民スポーツラリー	500	7～8月	各体育館及び野幌総合運動公園の利用者によるスタンプラリーを実施し、スポーツ施設の利用促進を図る。

スポーツ大会・講習会

第25回 原始林クロスカントリー大会

開催日 ● 9月3日(日)
場所 ● 野幌総合運動公園
参加料 ● 高校生以上 2,300円
小中学生 1,300円
ファミリー 2,800円
種目 ● 10km 一般男・女(高校生以上)
5km 一般男・女(中学生以上)
3km 小学生・ファミリー
申込日 ● 7月1日~7月31日



第4回 市民グリーンボール普及交流会

開催日 ● 7月9日(日)
場所 ● 飛鳥山公園グリーンボール場
参加料 ● 500円
対象 ● 小学生以上
申込日 ● 6月5日~16日



第44回 春の水泳記録会

開催日 ● 2月4日(日)
場所 ● 青年センタープール 対象 ● 江別市民
参加料 ● 1種目300円 申込日 ● 12月22日~1月11日

集まれ、ちびっ子! 元気祭り!! 2017

開催日 ● 6月25日(日)
場所 ● 市民体育館
対象 ● 小学生以下の子どもと家族
参加料 ● 無料
内容 ● レクリエーションスポーツの開放
おたのしみイベント
江別ブランドの売店・屋台など



登山教室

開催日 ● 事前研修会 ● 6月17日(土)
● 登山日 ● 7月1日(土)
場所 ● オロフレ山 対象 ● 小学生以上の江別市民
受講料 ● 一般4,200円/小・中学生1,500円
申込日 ● 6月5日~16日(先着40名)

第33回 原始林クロスカントリースキー大会

開催日 ● 1月28日(日) 場所 ● 野幌総合運動公園
参加料 ● クロスカントリースキーの部 ● 歩くスキーの部
高校生以上 2,500円 高校生以上 1,800円
小中学生 1,500円 中学生以下 800円
種目 ● クロスカントリースキーの部
10km 一般男・女(高校生以上)
5km 一般男・女(中学生以上)
3km 小学生
● 歩くスキーの部
3km、5km 年齢制限なし
申込日 ● 11月15日~12月13日



第29回 マスターズスポーツ卓球大会

開催日 ● 1月21日(日)
場所 ● 市民体育館 参加料 ● 一人 700円
対象 ● 45歳以上 申込日 ● 12月9日~22日

第25回 マスターズスポーツバドミントン大会

開催日 ● 2月10日(土)
場所 ● 東野幌体育館 参加料 ● 一人 700円
対象 ● 45歳以上 申込日 ● 1月5日~18日

講習会

グリーンボール実技講習会
開催日 ● 5月28日(日) 飛鳥山公園グリーンボール場
6月11日(日) 飛鳥山公園グリーンボール場
受講料 ● 無料 申込日 ● 当日

健康・スポーツ講習会 エロゲーショントレーニングとは
開催日 ● 11月11日(土)
場所 ● 大麻体育館
受講料 ● 無料
申込日 ● 10月16日~29日

ノルディックウォーキング講習会
開催日 ● 7月2日(日)
場所 ● 飛鳥山公園
受講料 ● 無料
申込日 ● 6月5日~16日

クロスカントリースキー・歩くスキー講習会
開催日 ● 1月13日(土)
場所 ● 飛鳥山公園
受講料 ● 無料
申込日 ● 12月9日~22日

平成29年度 スポーツ教室

受講者募集!!

平成29年度江別市の4つの体育館で行われるスポーツ教室の受講者を募集します!~

Grid of 20 sports classes including: 高齢者ふれあい健康教室, エンジョイスports教室, ジュニアSports教室, 親子健康教室, 小学生水泳教室, 水中ウォーキング教室, ナイトボクシングエアロ教室, ステップエクササイズ教室, 背骨コンディショニング教室, パワフルエアロ教室, ソフトエアロ教室, ラテンエアロ教室, エクササイズナイト, 小中学生水泳教室, アクアピクス教室, フラダンス教室, ヨガ教室, ナイトヨガ教室, ピラティス教室, ナイトピラティス教室, バランスコーディネーション教室, 登山教室. Each entry includes a title, description, and target audience.

説明事項（１）

第6期 江別市スポーツ推進計画の策定について

事 項	第6期 江別市スポーツ推進計画
策定の根拠	江別市スポーツ振興計画は、スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）第 10 条第 1 項に基づき、国のスポーツ基本計画を参しゃくして、市町村がその実情に即したスポーツの推進に関する施策について定める計画。
計画の位置付け	上位計画である「江別市総合計画」をはじめ、江別市の各種計画や指針との整合性を図りながら、また、国や道の動向も見極めるとともに、まちづくり市民アンケートや市民の要望・意見を参考とし、江別市の地域性を踏まえた計画として策定。
計画期間	平成 31 年度から平成 35 年度までの 5 年間 現計画が平成 26 年から平成 30 年度の 5 年間で終了する。
策定方法	<p>(1) 江別市スポーツ推進審議会による協議 委員 11 名：学識経験者、関係行政機関から推薦を受け委嘱 ： 29 年度に市民公募委員を募集予定</p> <p>(2) まちづくり市民アンケートの活用（企画政策部政策推進課実施）</p> <p>(3) 庁内外関係各所への調査票送付</p> <p>(4) パブリックコメントにより市民意見の反映 平成 30 年度実施予定</p>
策定スケジュール	別紙 1 参照 第6期 江別市スポーツ推進計画(H31～35)策定スケジュール(案)
国・道・各市の策定状況	別紙 2 参照 国・道・各市スポーツ計画策定状況

第6期 江別市スポーツ推進計画（H31～35） 策定スケジュール（案）

協議・ 検討会議等	平成29年度											平成30年度												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
計画策定の主な動き	策定スケジュール検討			策定方針決定		第5期計画評価				教育委員会から諮問		計画素案協議							計画素案協議			計画案協議		
	国・道・各市の策定状況等調査、資料収集											教育部内打合せ・関係課との協議												
スポーツ推進審議会		策定スケジュール説明			第6期策定方針 第5期計画評価説明			諮問審議			計画素案審議 原案決定					パブコメ 結果報告 答申協議・決定			答申			計画決定 報告		
	① 現状分析・課題整理 ②～③ 推進目標・項目検討、施策体系案検討 ④ 計画素案協議 ⑤～⑥ 計画素案協議・原案まとめ ⑦ パブリックコメント結果協議																							
庁内会議				会議設置		策定方針の説明 作業日程の説明			推進目標・項目等検討 施策体系案協議		計画素案協議													
スポーツ推進審議会 委員の市民公募 パブリックコメント				スポーツ推進審議会 条例改正			市民公募 委員の選考・委嘱		スポーツ推進 審議会委員の 市民公募							パブリック コメント (30日間)		パブコメ 結果報告						

国・北海道・石狩管内他市の体系図比較

国	北海道	江別市	恵庭市
第2期スポーツ基本計画	北海道スポーツ推進計画	第5期江別市スポーツ推進計画	恵庭市運動・スポーツ推進計画
平成29年度～平成33年度	平成25年度～平成29年度	平成26年度～30年度	平成28年度～32年度
基本理念 ～ スポーツが変える。未来を創る。 Enjoy Sports, Enjoy Life ～	基本理念 「スポーツ王国北海道」の実現	基本理念 いつでも、どこでも、だれでも、 いつまでもスポーツを	基本理念 夢と健康を育むまち 健康・スポーツコミュニティ えにわ
基本目標1～5	基本目標1～5	基本目標Ⅰ～Ⅲ	基本理念
基本方向	基本方向	基本方向	基本目標
施策項目	施策項目	施策項目	重点施策
<p>1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実</p> <p>(1) スポーツ参画人口の拡大</p> <p>① 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進</p> <p>② 学校体育をはじめ子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確立と体力の向上</p> <p>③ ビジネスパーソン、女性、障害者のスポーツ実施率の向上と、これまでスポーツに関わってこなかった人へのはたらきかけ</p> <p>(2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実</p> <p>① スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保</p> <p>② 総合型地域スポーツクラブの質的充実</p> <p>③ スポーツ施設やオープンスペース等のスポーツに親しむ場の確保</p> <p>④ 大学スポーツの振興</p> <p>2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現</p> <p>(1) スポーツを通じた共生社会等の実現</p> <p>① 障害者スポーツの振興等</p> <p>② スポーツを通じた健康増進</p> <p>③ スポーツを通じた女性の活躍促進</p> <p>(2) スポーツを通じた経済・地域の活性化</p> <p>① スポーツの成長産業化</p> <p>② スポーツを通じた地域活性化</p> <p>(3) スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献</p> <p>3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備</p> <p>① 中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立</p> <p>② 次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築</p> <p>③ スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実</p> <p>④ トップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実</p> <p>4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上</p> <p>① コンプライアンスの徹底、スポーツ団体のガバナンスの強化及びスポーツ仲裁等の推進</p> <p>② ドーピング防止活動の推進</p>	<p>第1章 学校と家庭・地域における子どもの運動・スポーツ機会の推進</p> <p>1 子どもの体力・運動能力の向上</p> <p>2 学校の体育に関する活動の充実</p> <p>(1) 学校の教育活動全体を通じた体力向上の取組の推進</p> <p>(2) 「体育」「保健体育」における学習の充実</p> <p>(3) 運動部活動の充実</p> <p>3 スポーツ少年団体等の活動の充実</p> <p>4 保護者に対する運動、スポーツの必要性についての普及啓発</p> <p>第2章 世界の舞台で活躍する競技者の育成</p> <p>1 技力向上に向けた戦略的な選手強化及び指導者の充実</p> <p>2 本道におけるスポーツ界の好循環の創出</p> <p>3 国際レベルの競技会等の開催</p> <p>4 プロスポーツ等との交流の促進</p> <p>第3章 若者から高齢者までのライフステージに応じた地域スポーツ活動の推進</p> <p>1 地域の特色を生かしたスポーツ活動の促進</p> <p>2 高齢者や障がいのある方のスポーツ体験活動などの普及・啓発</p> <p>3 スポーツ関係団体等との連携・協働</p> <p>第4章 道民が自ら進んで参画するスポーツ環境の充実</p> <p>1 スポーツ指導者の充実</p> <p>2 地域住民が主体となったスポーツ環境の充実</p> <p>3 スポーツ施設の有効活用</p>	<p>基本目標Ⅰ 生涯スポーツの推進</p> <p>1 生涯各期におけるスポーツ活動の機会提供と充実</p> <p>(1) 幼児のスポーツ</p> <p>(2) 青少年のスポーツ</p> <p>(3) 成人のスポーツ</p> <p>(4) 高齢者のスポーツ</p> <p>(5) 障がい者のスポーツ</p> <p>2 各領域におけるスポーツ活動の充実と関係機関・団体との連携</p> <p>(1) 生涯スポーツ・地域スポーツ</p> <p>(2) 学校における体育・スポーツ</p> <p>(3) 競技スポーツ</p> <p>基本目標Ⅱ 地域スポーツ活動の推進</p> <p>1 団体活動の活性化促進</p> <p>(1) 団体活動活性化のための統括団体への協力</p> <p>(2) 指導者の育成及び研修機会の提供</p> <p>(3) スポーツ指導プログラム等の情報提供と充実</p> <p>(4) 学校・スポーツ関係機関・民間企業等への情報提供と相談活動</p> <p>(5) スポーツ・健康づくり活動への参加奨励・啓発促進</p> <p>2 地域に密着した総合型地域スポーツクラブの育成・支援</p> <p>(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援</p> <p>3 スポーツ・健康づくりの情報提供や相談体制の充実</p> <p>(1) スポーツ・健康づくりの活動機会に関する情報提供や相談体制の充実</p> <p>(2) 気軽にスポーツに親しめる機会の提供</p> <p>(3) スポーツ・健康づくりに関する医療・福祉機関等との連携</p> <p>4 えべつ市民健康づくりプラン21と連携したスポーツや運動を通じた健康づくりの推進</p> <p>(1) えべつ市民健康づくりプラン21と連携した健康づくり</p> <p>基本目標Ⅲ スポーツ環境の整備・充実</p> <p>1 スポーツ施設の整備・充実</p> <p>(1) 市民の活動要求に応える施設の整備・充実</p> <p>2 スポーツ施設の適正な管理運営</p> <p>(1) 市民が利用しやすい施設運営と適切な管理</p> <p>(2) 施設管理団体との連携</p> <p>(3) 他所管類似施設との連携</p>	<p>I 運動やスポーツを通じた健康の保持増進</p> <p>1 子どもの運動やスポーツ活動の推進</p> <p>(1) 幼児期からの遊びや運動の習慣づくり</p> <p>(2) 子どもの体力向上</p> <p>2 高齢者の健康づくりの推進</p> <p>(1) 運動やスポーツへのきっかけづくり</p> <p>(2) 高齢者の健康づくり</p> <p>3 気軽に参加できる多様な機会の充実</p> <p>(1) 活動的な生活習慣へのきっかけづくり</p> <p>(2) 気軽に参加できる身近な運動やスポーツ機会の提供</p> <p>(3) 子育て世代・働き盛り世代への運動やスポーツの機会づくり</p> <p>(4) 多様な運動やスポーツの継続支援</p> <p>(5) アウトドア・ウィンタースポーツの振興</p> <p>II 運動やスポーツ活動を支える環境づくり</p> <p>1 地域の運動やスポーツ活動の充実</p> <p>(1) 地域で活動する団体などへの支援・連携強化</p> <p>(2) 活動を支える人材の養成・確保</p> <p>2 競技力の向上</p> <p>(1) ジュニア期からの競技力向上</p> <p>(2) 優秀競技者などへの支援</p> <p>III 運動やスポーツを楽しむ環境づくり</p> <p>1 運動やスポーツに関する情報提供の充実</p> <p>(1) 情報の収集・発信</p> <p>(2) スポーツ観戦の機会づくり</p> <p>2 スポーツ施設及び関連施設の充実</p> <p>(1) 施設の有効活用</p> <p>(2) 計画的な施設管理の推進</p>

第2期スポーツ基本計画のポイント



スポーツ基本計画・・・スポーツ基本法(2011(平成23)年公布・施行)に基づき、文部科学大臣が定める計画。第2期は2017(平成29)年度～2021(平成33)年度。

第1期基本計画

2020年
東京大会の
開催決定

障害者スポーツが
厚労省から
文科省へ移管

スポーツ庁の
創設

第2期
基本計画
策定

ラグビー
ワールドカップ等

東京オリンピック・
パラリンピック
競技大会

ワールド
マスターズ
ゲームズ関西

2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022

ポイント1

スポーツの価値を具現化し発信。
スポーツの枠を超えて異分野と積極的に連携・協働。

～ スポーツが変える。未来を創る。 Enjoy Sports, Enjoy Life ～

「人生」が変わる！

スポーツで
人生を健康で生き生きと
したものにできる。

「社会」を変える！

共生社会、健康長寿社会の
実現、経済・地域の活性化
に貢献できる。

「世界」とつながる！

多様性を尊重する世界
持続可能で逆境に強い世界
クリーンでフェアな世界
に貢献できる。

2

スポーツを通じた 活力があり絆の 強い社会の実現

障害者のスポーツ実施率(週1)
19% ⇒ 40%
スポーツを通じた健康増進
女性の活躍促進

「未来」を創る！

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、
スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、
レガシーとして「一億総スポーツ社会」を実現する。

スポーツ市場規模の拡大
5.5兆円 ⇒ 15兆円 (2025年)

スポーツツーリズムの関連消費額
2,204億円 ⇒ 3,800億円

戦略的な国際展開
100か国以上1,000万人以上にスポーツで貢献
2020年東京大会等の円滑な開催

3 国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピックにおいて
過去最高の金メダル数を獲得する等
優秀な成績を収められるよう支援

中長期の強化戦略に基づく支援
次世代アスリートの発掘・育成
スポーツ医・科学等による支援
ハイパフォーマンスセンター等の充実

4 クリーンでフェアな スポーツの推進

インテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を高める

コンプライアンスの徹底
スポーツ団体のガバナンス強化
ドーピング防止

ポイント3

障害者スポーツの振興やスポーツの
成長産業化など、スポーツ庁創設後
の重点施策を盛り込む。

1

「する」「みる」 「ささえる」 スポーツ参画人口 の拡大

スポーツ実施率(週1)
42% ⇒ 65%

スポーツをする時間を
持ちたいと思う中学生
58% ⇒ 80%

スポーツに関わる人材の確保・育成

総合型地域スポーツクラブの
中間支援組織を整備 47都道府県

学校施設やオープンスペースの有効活用

大学スポーツアドミニストレーター
を配置 100大学

など

ポイント2

数値を含む成果指標を第1期計画に
比べ大幅に増加(8⇒20)。

第2期スポーツ基本計画 概要

第1章 第2期スポーツ基本計画の策定に当たって

スポーツ基本法に基づく第2期スポーツ基本計画は、平成29～34年度の5年間に
おける、スポーツ立国の実現を目指す上での重要な指針。

スポーツ審議会において審議を行い、平成29年3月1日に答申をとりまとめ。こ
の答申を踏まえ、第2期スポーツ基本計画を策定。

第2期計画では、第2章で計画の理念を「スポーツの価値」として具体化。

第3章で施策体系を大括り化し（4つの政策目標）、数値目標を8から20に増加。

第2章 中長期的なスポーツ政策の基本方針

～スポーツが変える。未来を創る。 Enjoy Sports, Enjoy Life ～

スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全て
の人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝く
ことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。

1 スポーツで「人生」が変わる！

スポーツを「する」ことで、スポーツの価値が最大限享受できる。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことでみんながその価値を享受できる。

スポーツを生活の一部とすることで、人生を楽しく健康で生き生きとしたものに
できる。

2 スポーツで「社会」を変える！

スポーツの価値を共有し人々の意識や行動が変わることで、社会の発展に寄与で
きる。

スポーツは共生社会や健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる。

3 スポーツで「世界」とつながる！

スポーツは「多様性を尊重する世界」「持続可能で逆境に強い世界」「クリーン
でフェアな世界」の実現に貢献できる。

4 スポーツで「未来」を創る！

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、スポー
ツで人々がつながる国民運動を展開し、オリンピックムーブメントやパラリンピ
ックムーブメントを推進。

本計画期間においては、「スポーツ参画人口」を拡大し、スポーツ界が他分野と
の連携・協働を進め、「一億総スポーツ社会」を実現する。

第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、 そのための人材育成・場の充実

【政策目標】

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進とその環境整備を行う。その結果として、成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度（障害者は40%程度）、週3回以上が30%程度（障害者は20%程度）となることを目指す。

※スポーツ実施率：週1以上が42.5（障害者19.2）%、週3以上が19.7（障害者9.3）%

（1）スポーツ参画人口の拡大

- ① 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 - ・スポーツの楽しみ方等を示す「ガイドライン」の策定・普及
 - ・新たなスポーツや高齢者が取り組める「スポーツプログラム」の策定・普及
- ② 学校体育をはじめ子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確保と体力の向上
(スポーツをする時間を持ちたいと思う中学生を増加(58.7%→80%)、スポーツが嫌い・やや嫌いである中学生を半減(16.4%→8%)、子供の体力を昭和60年頃の水準に)
 - ・学習指導要領の改訂や全国的な体力調査等を通じた体育・保健体育の授業等の改善
 - ・教員の研修、施設の整備等を通じた武道の指導の充実
 - ・運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定
 - ・学校体育活動中の重大事故を限りなくゼロにするという認識の下での事故防止の取組の推進
- ③ ビジネスパerson、女性、障害者のスポーツ実施率の向上と、これまでスポーツに関わってこなかった人へのはたらきかけ
(成人のスポーツ未実施者の数がゼロに近づくことを目指す)
 - ・ビジネスパersonのスポーツ習慣づくりと民間事業者における「健康経営」の促進
 - ・女性がスポーツに参画しやすい環境整備、障害者スポーツの裾野拡大に向けた取組の推進
 - ・スポーツと食、エンターテインメント等他分野との融合やITの活用による魅力向上

（2）スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

- ① スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保
 - ・スポーツに関わる人材の数や属性の特徴などの全体像の明確化
 - ・アスリートの雇用促進や地域での指導機会の拡大等によるキャリア形成の支援
 - ・指導者養成のモデル・コア・カリキュラムの大学等への普及
 - ・専門スタッフ、審判員、ボランティア等の育成・確保
- ② 総合型地域スポーツクラブの質的充実
 - ・総合型クラブの登録・認証等の制度と中間支援組織の整備（47都道府県）

- ・ P D C A サイクルにより運営の改善等を図る総合型クラブの増加 (37.9%→70%)
- ・ 地域課題解決に向けた取組を行う総合型クラブの増加 (18.4%→25%)
- ③ スポーツ施設やオープンスペース等のスポーツに親しむ場の確保
 - ・ ストックの適正化に関するガイドラインの活用促進
 - ・ 学校体育施設の開放の在り方に関する手引きを策定し施設を有効活用
 - ・ キャッチボール等が気軽にできる場としてオープンスペース等の有効活用の促進
- ④ 大学スポーツの振興
 - ・ 大学においてスポーツ分野を統括する部局の設置促進, アドミニストレーターの配置促進 (100 大学)
 - ・ 大学横断的・競技横断的統括組織 (日本版 N C A A) の創設を支援

2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

【政策目標】

社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現, 経済・地域の活性化, 国際貢献に積極的に取り組む。

(1) スポーツを通じた共生社会等の実現

① 障害者スポーツの振興等

(障害者の週 1 回のスポーツ実施率: 成人 19.2%→40%, 7~19 歳 31.5%→50%)

- ・ 地方公共団体等において障害者スポーツを総合的に振興する体制の整備
- ・ 障害のある人とない人が一緒に親しめるスポーツ・レクリエーションの推進
- ・ スポーツ施設のバリアフリー化, 不当な差別的取扱いの防止による利用促進
- ・ 全ての特別支援学校が地域の障害スポーツの拠点となることの支援
- ・ 総合型クラブへの障害者の参加促進 (40%→50%)
- ・ 障害者スポーツ指導者の養成の拡充 (2.2 万人→3 万人)
- ・ 活動する場がない障害者スポーツ指導者を半減 (13.7%→7%)
- ・ 障害者スポーツの理解促進により, 直接観戦経験者を増加 (4.7%→20%)
- ・ 全ての学校種の教員に対する理解促進, 学校における障害児のスポーツ環境の充実

② スポーツを通じた健康増進

- ・ スポーツによる健康寿命の延伸の効果について, エビデンスの収集・整理・情報発信
- ・ 効果的な「スポーツプログラム」や「ガイドライン」の策定・普及
- ・ スポーツ事故等の情報収集, 安全確保に向けた方策のとりまとめ, 普及・啓発
- ・ 被災地でのスポーツによる身体的・精神的支援

③ スポーツを通じた女性の活躍促進

- ・ 女子生徒の運動習慣の二極化を含め女性特有の課題の整理
- ・ 女性指導者増加に取り組むとともに, スポーツ団体における女性登用を促進
- ・ 女性トップアスリートについて女性特有の課題に対応した医・科学支援の実施

(2) スポーツを通じた経済・地域の活性化

- ① スポーツの成長産業化
(スポーツ市場規模 5.5 兆円を 2020 年に 10 兆円, 2025 年に 15 兆円へ拡大)
 - ・スポーツの成長産業化, 地域活性化の基盤としてのスタジアム・アリーナの実現
 - ・各種スポーツ団体等と連携した新たなビジネスモデルの開発支援
 - ・スポーツ経営人材の育成・活用, スポーツ団体におけるビジネス手法, IT の活用
- ② スポーツを通じた地域活性化
 - ・スポーツツーリズムの推進 (スポーツ目的の訪日外国人数を 138 万人→250 万人, スポーツツーリズム関連消費額を 2,204 億円→3,800 億円)
 - ・地域スポーツコミッションの設置促進 (56→170), 地域コミュニティの維持・再生
 - ・オリンピック・パラリンピック教育やホストタウンの推進

(3) スポーツを通じた国際社会の調和ある発展

- ・国際競技団体等における役員数の増加 (25 人→35 人) や政府間会合への積極的な参加等を通じて国際スポーツ界の意思決定に参画
- ・スポーツ・フォー・トゥモローによりスポーツの価値を 100 カ国以上 1,000 万人以上に広げる
- ・諸外国におけるスポーツ情報を戦略的に収集・分析, スポーツ団体等における国際業務の体制強化
- ・ラグビーワールドカップ 2019 及び 2020 年東京大会について, 政府の基本方針に基づき円滑な開催を支援, ワールドマスターズゲームズ 2021 関西等に協力

3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備

【政策目標】

国際競技大会等において優れた成績を挙げる競技数が増加するよう, 各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。

日本オリンピック委員会 (JOC) 及び日本パラリンピック委員会 (JPC) の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ, 我が国のトップアスリートが, オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう支援する。

- ① 中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立
 - ・中央競技団体は中長期の強化戦略を実践し, JSC, JOC 及び JPC は中央競技団体の強化戦略を多面的に支援。国は, ここで得た知見をターゲットスポーツの指定に活用
 - ・ナショナルコーチやサポートスタッフの配置と資質向上, 世界トップレベルのコーチの育成
- ② 次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築
 - ・地域ネットワークを活用したアスリートの発掘や種目転向の支援
 - ・将来メダルの獲得可能性のある競技やアスリートをターゲットとした集中的な強化

- ・国民体育大会にオリンピック競技種目の導入を促進
- ③ スポーツ医・科学，技術開発，情報等による多面的で高度な支援の充実
 - ・ナショナルトレーニングセンターや国立スポーツ科学センターを包含する「ハイパフォーマンスセンター」の機能強化
 - ・トップアスリートに対してスポーツ医・科学，情報等を活用し多方面から支援
- ④ トップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実
 - ・ナショナルトレーニングセンター中核拠点の拡充棟を2020年の約1年前までに整備し，オリンピック競技とパラリンピック競技の共同利用化を実現
 - ・ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点の活用

4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

【政策目標】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて，クリーンでフェアなスポーツ（スポーツ・インテグリティ）の推進に一体的に取り組むことを通じて，スポーツの価値の一層の向上を目指す。

- ① コンプライアンスの徹底，スポーツ団体のガバナンスの強化及びスポーツ仲裁等の推進
 - ・全てのアスリート等が主体的に取り組むことができる教育研修の推進
 - ・スポーツ団体の組織運営をモニタリング・評価し，必要な助言・支援を実施
 - ・スポーツ仲裁自動応諾条項の採択等により，全てのスポーツ団体におけるスポーツに関する紛争解決の仕組みの整備を促進
- ② ドーピング防止活動の推進
 - ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けてドーピング検査員の育成をはじめ必要な体制の整備
 - ・ドーピング防止活動に係る情報を共有できる仕組みの構築
 - ・アスリートやサポートスタッフ，医師や薬剤師等に対する教育と，国際的なドーピング防止活動への貢献

第4章 施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項

計画の広報活動の推進。SNSをはじめ多様なメディアを活用し国民に直接発信。大きな潜在力にふさわしいスポーツ関連予算の更なる強化はスポーツ関係者の総意。併せて，予算の効率的・効果的な活用と，スポーツ団体等における公的資金の適正使用を徹底。

スポーツ振興投票制度（toto）等を活用，スポーツに対する寄附や投資を活性化。計画の進捗状況をスポーツ審議会等において定期的に検証。検証プロセスを公開し，検証結果を次期スポーツ基本計画の策定における改善に反映。